

(案)

令和7年5月 日

印西市長 藤代 健吾 様

印西市環境審議会
会長 岩 井 誠

いんざいカーボンニュートラル・チャレンジ2050について（答申）

令和7年1月23日付け印西環第1733号で諮問のありましたこのことについて、本審議会において慎重審議した結果、下記のとおり答申します。

記

いんざいカーボンニュートラル・チャレンジ2050（案）を妥当と判断します。

なお、令和32（2050）年までにカーボンニュートラルを実現するために掲げた取組の実施にあたり、次のとおり付帯意見をまとめましたので、十分留意されるよう要望いたします。

1. 令和12（2030）年度における温室効果ガス排出量の削減目標について、印西市では、近年、企業進出に伴う産業の発展や人口増加が見られる点から、令和2（2020）年度比で40%の削減を目指すとの目標設定は実効性のある計画を目指す視点から理解できるが、更なる高みに向けて挑戦を続けていただきたい。
2. 令和32（2050）年における温室効果ガス排出量の削減目標について、特定事業所における削減対策は、削減目標の達成の約5割を占めていることから、特定事業所に対し、積極的に取組を推進していただくよう働きかけていただきたい。
3. 新しく設定された再生可能エネルギーの導入目標の達成に向けては、様々な手法を検討し、着実に取り組みを進めていただきたい。ただし、再生可能エネルギーの導入に当たっては、地域との共生や環境保全を重視し、適切な規制を行い、適切な管理を求めることで、持続可能なエネルギーの供給と環境保全の両立を目指していただきたい。
4. 2050年までにカーボンニュートラルを実現するためには、市民のより一層のライフスタイル変容による省エネルギー化が必要であり、そのための啓発や事業に積極的に取り組んでいただきたい。

(案)

5. 温室効果ガス排出量の削減のほか、「吸収」についても着目し、印西市が有する豊かな自然環境を維持するため、事業者に対し吸収源確保の活動への貢献の働きかけや、里山を構成する農地や森林、草地等の保全を産官学民の協働により取り組んでいただきたい。
6. 本計画の進行管理にあたっては、PDCAサイクルによる継続的な取組の改善に努めるとともに、ホームページ等を活用し、市民・事業者にわかりやすく速やかに取組状況等を広く周知していただきたい。